

新しい時代の幕開けです

試料導入から画期的な新技術

AutoFill™ Sample Handling オートフィル™ サンプルハンドリング



Fill Station™

フィルステーション™ アクセサリ

AutoFill™ オートフィル™ をご紹介いたします

試料導入から見直してみました

試料溶液を注ぐだけで測定完了。夢のような話ではありません。

高性能・高性能と進化を続けるオートポールシリーズ旋光計は全世界に5000ユーザー以上の実績があります。多くのユーザーから要望を寄せられた夢のような技術。旋光度測定において避けては通ることのできない作業として測定セルに試料を導入するところから新しい革命的な技術を生み出しました。

オートフィル™は中央に設けられた注入口から試料溶液を注ぐだけで測定セルへ試料溶液を導入し測定終了後のセルのクリーニングから乾燥工程まで完全自動で行います。

未来の夢のような話ではありません。オートフィル™は測定現場の生産性を飛躍的に向上します。



この時代、これからの時代に革新的な新技術

多様化する雇用形態により、旋光度測定の特任者という時代ではなく、測定環境に効率を求められるようになってきました。測定現場の担当者全てが簡単に測定ができる環境を提案します。

使い方はシンプル。溶液を注ぐ作業のみです。

中央に設けられた溶液注入口の蓋を開けて試料溶液を注ぎます。注入後、黒い蓋を閉じ、スタートボタンを押すことで自動的に試料溶液が測定セルへ導入され、あらかじめ設定された温度になった時点から、自動的に測定を開始します。測定完了を通知するメッセージが表示されてから、黒い蓋を開けてクリーニング溶液を注ぎ、同様に蓋を閉じると洗浄工程が開始され廃液容器に試料溶液と洗浄溶液が排出し、エアードライヤーで乾燥工程が始まります。乾燥工程が終了後、次の試料溶液の測定を開始することができます。

時短だけじゃないメリットも

- 測定セルへ試料溶液を導入する際に使用していたシリンジやパスツールなど不要です。フラスコから直接注ぐだけです。
- 測定後、洗浄溶液も注ぐだけなので、試料に合わせて選択できます。
- エアードライヤー搭載で、測定セルを乾燥することができます。
- テクニックやコツなど習うことなく、正しく測定ができます。

多種多様な試料を取扱うラボの作業効率を飛躍的に向上します。
更に多検体を自動処理されるにはAutoFlexR837をご提案します



試料溶液で悩みはございませんか？

旋光度測定でよく利用される酸性溶液も揮発性の高い溶剤もお任せください

- 接液部材に耐薬品性の高い部材を使用しており、6mol塩酸溶液でも問題ありません。(Teflon, PEEK, Kalrez®)
- 揮発による試料溶液の濃度変化を防ぎます。注入口の蓋を閉じると密閉空間となり、揮発しません。
- 密閉空間で試料溶液の取扱いができるので、二オイの強い試料溶液にも最適です。

測定セルへの試料導入・測定後のセル洗浄 自動化により更に効率化

オートフィル™により測定セルを手を持って試料溶液の導入を行うこともなく、また測定完了後にセルの洗浄を繰り返し行うこともなくなります。オペレーションはグラフィカルにアイコン化されたボタンにより測定者を選ばず、どなたでも瞬時に判断できるレイアウトとなっており、旋光度測定におけるヒューマンエラーを最小限に抑えることができます。



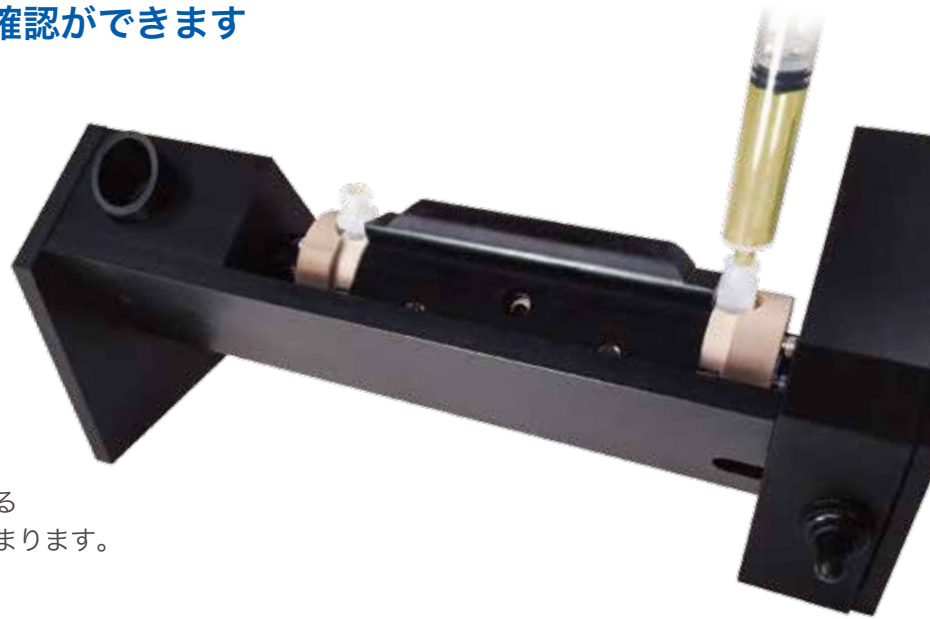
FillStation™ フィルステーション™ 試料導入をお手伝いします

測定セルを試料室へ置く前に気泡の確認ができます

試料導入を視覚化し確実に

新しく登場した FillStation™ (フィルステーション) は TempTrol™ 専用セルの為に専用設計されたアクセサリです。旋光度測定用の溶液には水の外、有機溶剤、強酸、強アルカリなど測定セルを手を持って試料導入をする事に不安を持つユーザーの声から生まれました。

また、気泡の確認も測定セルを試料室へ配置する前に確実にを行うことができますので、試料室へ置いてから不安定な測定値やエラーメッセージから判断することがなく、確実に測定を行うことができ効率が高まります。



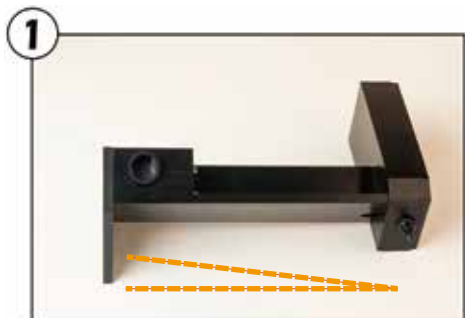
FillStation™ 導入のメリット

- 測定セルに試料溶液を充填する作業において、熟練度や特別なトレーニングなど必要ありません。内部確認窓から試料溶液が満たされていく過程を視覚化できますので、確実にセル内へ導入できます。
- 目視により測定に不具合をもたらす気泡の有無を確認することができるので、人為的な測定ミスを低減できます。従来では気泡による光量不足でのエラーメッセージや不安定な測定値により判断されていた事が無くなります。
- 測定セルを手を持って、試料溶液を充填することがなくなり、試料溶液が手や指に付着することがなく安全です。溢れた試料溶液はドレインホールより排出されます。

AutoFill™ は 2016 年モデル以降のオートポール5 プラス及び 6 への工場オプション設定です。
FillStation™ は 2016 年以降のオートポール5、5 プラス、6 に標準付属品として付属
その他の TempTrol™ 付きモデルには別途オプション (詳しくはお問合せください)

FillStation™の使い方

試料溶液をカンタン・確実に測定セルへ導入できるフィルステーション™は確認窓からの微細な気泡もハッキリと目視でき測定効率の向上に役立ちます。光源には省電力LEDが採用されており、オートオフ機能もあり、消し忘れなども心配無用です



Fill Station™はあらかじめ理想の傾斜がついています。



Fill Station™へ40Tセルを置きます。測定セル背面が手前となります。



40Tセルを配置後、右の照明スイッチを入れます。

*照明は数分後自動的に消灯します。



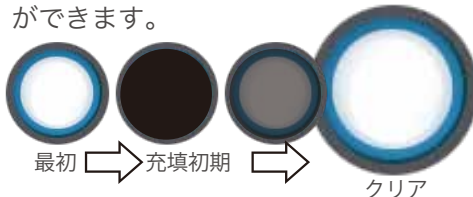
40Tセル右側（傾斜の低い方）よりゆっくり試料溶液を注入します。

反対側の注入口より試料溶液が確認できたら、ルアーキャップをします。勢いよく注入せず、右図にある気泡確認窓より充填状況を確認しながらゆっくり注入する事をおすすめします。



下図のように確認窓は試料充填を始めると暗くなります。

気泡がなく、きれいに充填が行えると明るく、はっきりと光を確認することができます。



オーダー情報 Order Information

A26576 フィルステーション
100mm光路長セル専用

オートポール5 (6波長モデル)
オートポール5 プラス (6波長モデル)
オートポール6
には標準付属します。

Tips: 補足情報

測定終了後、セル内の試料溶液を排出し、水またはアルコールで洗浄後、少量のアセトン溶液を通して、乾燥空気で乾燥を行うと事、セル内壁が完全に乾燥しクロスコンタミを起こす事なく、次の試料溶液もスムーズに導入できます。40Tセルは分解後、超音波洗浄も可能で非常に効果的です。

Temp Trol™測定セルの特徴

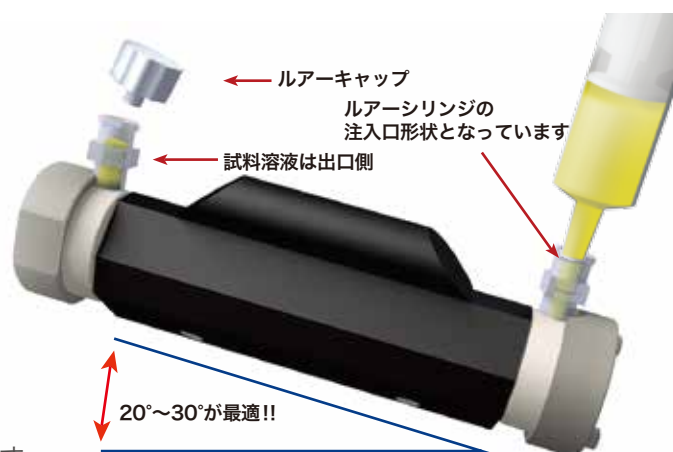
手持ち導入でも確実に試料導入できます

測定セルを手にとって試料溶液の導入を行う場合も、左図のように試料溶液を注入する側を下側にし、少し傾けることで気泡が混入することなく確実に試料を導入することができます。

一般的に円筒形の測定セルでは注入口と端面までの空間に構造上デッドボリュームが生まれます。TempTrol™専用セルは注入口から流れる試料は必ず端面の窓に接液して試料管へ導入されます。限りなくデッドボリュームがない特徴ある構造だからこそ、確実に試料溶液が導入できるのです。

分解洗浄もできます

両端のキャップ・窓材を簡単に取り外すこともでき、分解洗浄可能セル本体は超音波洗浄もでき、より確実にセル洗浄を行うこともできます。



本カタログに記載されている外観及び各仕様は、改善のため予告なく変更することがあります。



株式会社 ルドルフ・リサーチ・アナリティカル・ジャパン

〒523-0893 滋賀県近江八幡市桜宮町 294 YP.1

Tel.0748-31-3942 Fax.0748-31-3943

info@rudolphresearch.co.jp www.rudolphresearch.co.jp